

第105回神戸市交通事業審議会 会議次第

日時：2023年4月27日（木） 午後1時～午後3時

場所：神戸市役所1号館28階 第4委員会室

1. 開 会

2. 交通事業管理者あいさつ

3. 議 事

(1) 交通局からの報告事項

① 2023年度神戸市交通局予算の概要

(2) その他

4. 閉 会

座 席 表

(第 105回 交 通 事 業 審 議 会)

水谷会長

○

松本参与 ○ 宮田委員 ○ ○ 高尾委員 ○ 村野参与
○ 山原委員

池田参与 ○ 大塚委員 ○ ○ 長沼委員 ○ 門田参与
○ 土井委員 ○ ○ 服部委員

高橋参与 ○ 奥谷委員 ○ ○ 寺田委員 ○ ながさわ参与
○ 和田委員 ○ ○ 井料委員

リモート参加

三古委員

事務局

○
城南幹事

○
山本幹事

神戸市交通事業審議会委員名簿

(2023年4月27日現在)

委員

(五十音順、敬称略、◎は会長)

市民委員 (7名)

大塚 隆生	神戸商工会議所 地域政策部長
木原 浩一	連合神戸地域協議会 副議長
高尾 ひろ子	神戸市婦人団体協議会 理事
長沼 隆之	神戸新聞社 論説副委員長
服部 洋子	神戸市商店街連合会 婦人部
宮田 香	神戸市ネットモニター
山原 真由美	神戸市PTA協議会 元会長

学識経験者 (7名)

井料 隆雅	東北大学大学院情報科学研究科 教授
奥谷 恭子	有限責任監査法人トーマツ パートナー
三古 展弘	神戸大学大学院経営学研究科 教授
寺田 英子	広島市立大学国際学部 教授
土井 勉	一般社団法人グローバル交流推進機構 理事長
◎水谷 文俊	神戸大学名誉教授
和田 真理子	兵庫県立大学国際商経学部 准教授

参与

(敬称略)

村野 誠一	神戸市会議員
門田 まゆみ	神戸市会議員
ながさわ 淳一	神戸市会議員
松本のり子	神戸市会議員
池田りんたろう	神戸市会議員
高橋 ひでのり	神戸市会議員

幹事

山本 雄司	神戸市都市局長
城南 雅一	神戸市交通事業管理者

○神戸市交通事業審議会規則

平成25年 3 月29日

神戸市規則第77号

(趣旨)

第1条 この規則は、執行機関の附属機関に関する条例（昭和31年11月条例第36号）第2条の規定に基づき、神戸市交通事業審議会（以下「審議会」という。）の組織及び運営その他審議会に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 審議会は、委員20人以内で組織する。

2 審議会に、参与若干名を置く。

3 審議会に、特別の事項を調査審議させるため必要があるときは、臨時委員を置くことができる。

第3条 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

(1) 学識経験を有する者

(2) 一般市民代表

(3) 前2号に掲げる者のほか、市長が特に必要があると認める者

2 参与は、市会議員のうちから市長が委嘱する。

3 参与は、会議に出席し、審議事項に関して意見を述べる。

4 臨時委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱し、又は任命する。

(1) 学識経験を有する者

(2) 国及び地方公共団体の職員

(3) 前2号に掲げる者のほか、市長が特に必要があると認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

3 参与の任期は、市会議員の職にある期間とする。

4 臨時委員は、その者の委嘱又は任命に係る当該特別の事項に関する調査審議が終了したときは、解嘱され、又は解任されるものとする。

(会長)

第5条 審議会に会長を置き、委員の互選により選任する。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 会長に事故があるときは、あらかじめその指名する委員が、その職務を代理する。

(部会)

第6条 審議会は、その定めるところにより、部会を置くことができる。

2 部会に属すべき委員及び臨時委員は、会長が指名する。

3 部会に部会長を置き、当該部会に属する委員の互選により選任する。

4 部会長は、当該部会の事務を掌理する。

5 部会長に事故があるときは、当該部会に属する委員のうちから部会長があらかじめ指名する者が、その職務を代理する。

6 審議会は、その定めるところにより、部会の議決をもって審議会の議決とすることができる。

(幹事)

第7条 審議会に、幹事を置くことができる。

2 幹事は、関係する本市の職員のうちから、市長が任命する。

3 幹事は、審議会の担任する事務について、委員及び臨時委員を補佐する。

(議事)

第8条 審議会は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 審議会は、委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

3 審議会の議事は、委員及び議事に関係のある臨時委員で会議に出席したものの過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 前3項の規定は、部会の議事に準用する。

(意見の聴取等に関する協力の要請)

第9条 審議会及び部会は、必要があると認めるときは、第三者の出席及び意見の聴取並びに第三者からの資料の提出に関し、協力を要請するものとする。

(除斥)

第10条 議案について直接の利害関係を有する委員，臨時委員及び参与は，その議事に加わることができない。ただし，審議会の同意があるときは，会議に出席し，発言することができる。

（会議の公開等）

第11条 審議会の会議は，これを公開する。ただし，委員の発議により，委員及び議事に関係のある臨時委員で会議に出席したものの過半数で議決したときは，この限りでない。

2 前項の規定は，部会の会議に準用する。

（庶務）

第12条 審議会の庶務は，交通局において処理する。

（施行細目の委任）

第13条 この規則に定めるもののほか，議事の手続その他審議会の運営に関し必要な事項は，会長が審議会に諮って定める。

附 則

（施行期日）

1 この規則は，平成25年4月1日から施行する。

（交通事業審議会規則の廃止）

2 神戸市交通事業審議会規則（昭和39年8月規則第47号）は，廃止する。

2023年度神戸市交通局予算の概要

BE KOBE

1

01

2023年度予算の概要

BE KOBE

2

01 2023年度 自動車事業会計予算 ~業務量~

BE KOBE



3

01 2023年度 自動車事業会計予算

BE KOBE

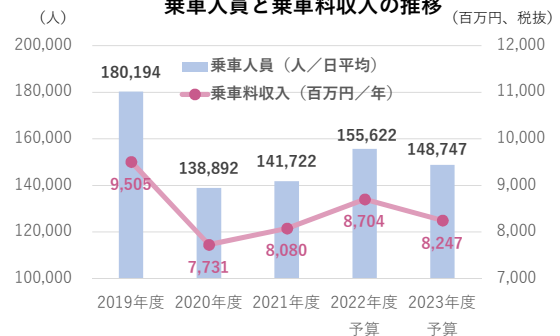
- ▶ 新型コロナウイルス感染症拡大による乗車人員の大幅な減少（通勤定期：△13％・通学定期：△15％・定期外：△20％）により、単年度赤字（**△ 10.4億円**）を計上。
- ▶ 資金手当てとして、新型コロナによる減収見込みへの補填としての特別減収対策企業債（※）の発行（10.1億円）により、累積資金不足額は**17.2億円**、資金不足比率は**19.7%**となる見込みである。

※新型コロナウイルス感染症に伴う利用者数の減少等により公営企業において大幅な収入減が発生していることから、交通・病院など住民生活に不可欠な公営企業の資金繰りを円滑にするため、総務省により令和2年度から新設された制度

予算の概要 (単位：百万円、税込)

	2022年度	2023年度	増 減
収入	11,263	10,736	△ 527
うち乗車料収入	9,573	9,086	△ 487
支出	12,109	11,678	△ 431
純損益（税抜）	△ 903	△ 1,036	△ 133
累積損益（税抜）	△ 4,102	△ 5,137	△ 1,035
累積資金過不足額	△ 1,717	△ 1,717	0
資金不足比率（％）	18.8	19.7	△ 0.9
企業債残高	9,380	11,054	1,674

乗車人員と乗車料収入の推移 (百万円、税抜)



4

01 2023年度 高速鉄道事業会計予算 ～業務量～

BE KOBE



01 2023年度 高速鉄道事業会計予算

BE KOBE

- ▶ 新型コロナウイルス感染症拡大による乗車人員の大幅な減少（通勤定期：△9%・通学定期：±0%・定期外：△15%）や減価償却費の増加により、単年度赤字（△53.9億円）を計上
 ※ 北神市営化の影響除き（通勤定期：△12%・通学定期：△4%・定期外：△18%）
- ▶ 累積資金は昨年度より33億円減少し、**10.4億円**の資金不足を見込んでおり、高速鉄道事業会計が資金不足に陥るのは、平成28年以来7年ぶりとなる。

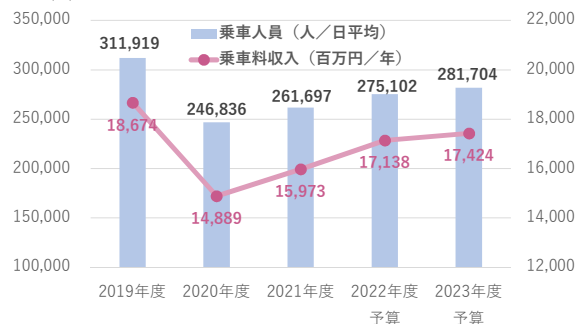
予算の概要（全線）

（単位：百万円、税抜）

	2022年度	2023年度	増減
収入	24,194	25,872	1,678
うち乗車料収入	18,696	19,007	311
支出	27,230	30,184	2,954
純損益（税抜）	△4,198	△5,392	△1,194
累積損益（税抜）	△85,965	△91,357	△5,392
累積資金過不足額	2,270	△1,038	△3,308
企業債残高	176,035	178,082	2,047

乗車人員と乗車料収入の推移

（人） （百万円、税抜）



01 2023年度 高速鉄道事業会計予算

BE KOBE

- ▶ 新型コロナウイルス感染症拡大による乗車人員の大幅な減少により、海岸線の**32.8億円**の赤字に加え、西神・山手線、北神線についても2022年度に引き続き**21.2億円**の赤字を計上
- ▶ 海岸線ランニング収支の均衡に向けた取り組みを進めた結果、2019年度は2.2億円の赤字まで縮減したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、2023年度予算では**5.4億円**の赤字を計上している。

予算の概要（西神・山手線、北神線）

(単位：百万円、税込)

	2022年度	2023年度	増 減
収入	19,397	20,473	1,076
うち乗車料収入	16,343	16,676	333
支出	19,514	21,548	2,034
純損益（税抜）	Δ 1,209	Δ 2,117	Δ 908
累積損益（税抜）	27,152	25,035	Δ 2,117
累積資金過不足額	66,704	69,903	3,199
企業債残高	94,546	104,108	9,562
乗車人員（人／日）	229,666	235,782	6,116

予算の概要（海岸線）

(単位：百万円、税込)

	2022年度	2023年度	増 減
収入	4,797	5,399	602
うち乗車料収入	2,352	2,332	Δ 20
支出	7,717	8,635	918
純損益（税抜）	Δ 2,989	Δ 3,275	Δ 286
累積損益（税抜）	Δ 113,117	Δ 116,392	Δ 3,275
累積資金過不足額	Δ 64,435	Δ 70,941	Δ 6,506
企業債残高	81,489	73,974	Δ 7,515
乗車人員（人／日）	45,436	45,922	486
ランニング収支（税抜）	Δ 485	Δ 542	Δ 57

7

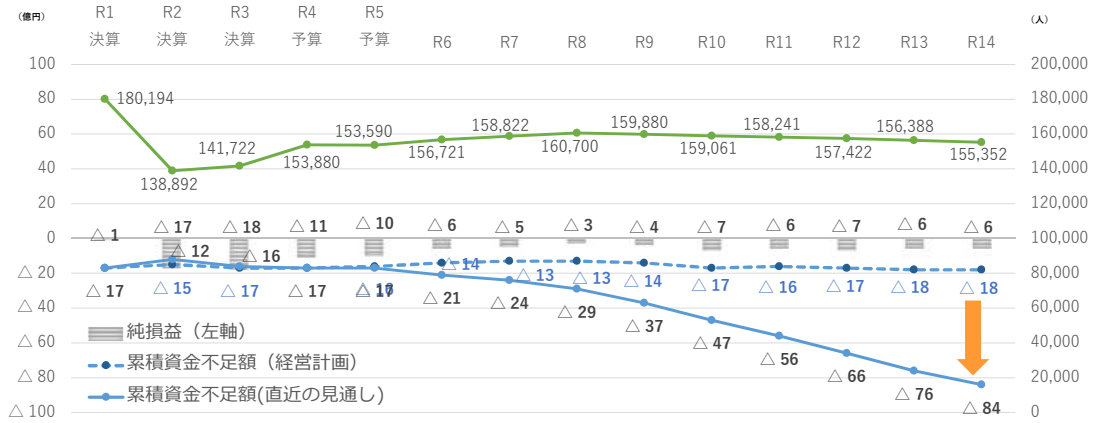
02 今後の収支見通し

BE KOBE

8

02 収支見通し ～自動車事業～

BE KOBE

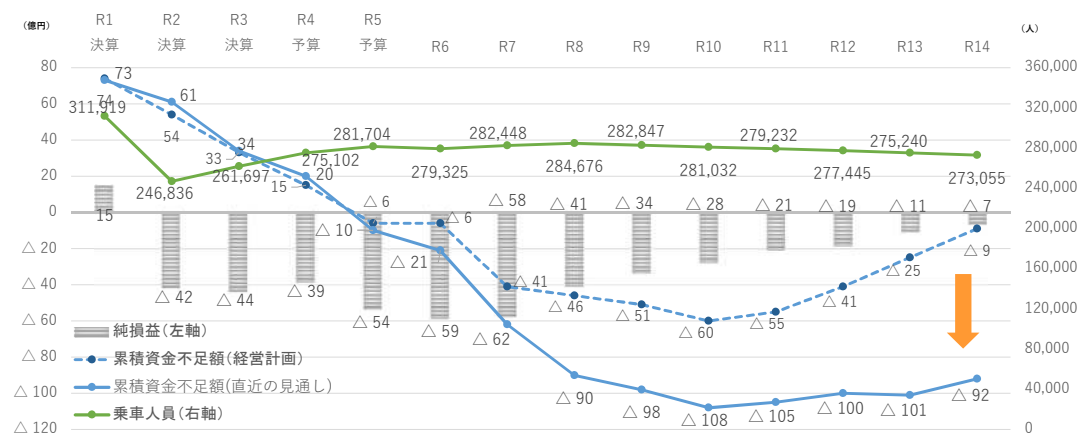


- ▶ 新型コロナウイルス感染症による**乗車人員の減少**が想定以上であり、今後も乗客数はコロナ前の水準には回復しないことが見込まれる
- ▶ 軽油代や電気代等の**燃料費高騰**や長期金利の上昇など経費が増加
- ▶ 新型コロナの影響による乗客数の減少が想定より大きく、**特別減収対策企業債の発行額が増加**したことに伴い、その償還額も増加したことで資金が悪化

9

02 収支見通し ～高速鉄道事業～

BE KOBE



- ▶ 新型コロナ感染症による**乗車人員の減少**が想定以上であり、今後も乗客数はコロナ前の水準には回復しないことが見込まれる
- ▶ 軽油代や電気代等の**燃料費高騰**や長期金利の上昇など経費が増加
- ▶ 資材費や人件費の上昇などにより**建設改良費が増加**したことに伴い、企業債発行額が増加し、その償還額が増加することで資金が悪化

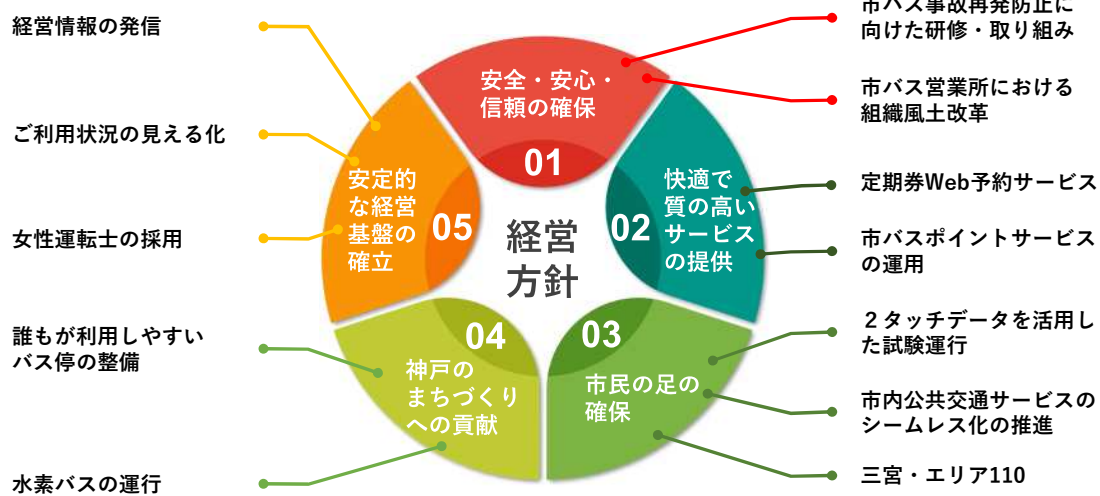
10

03 2023年度主要事業

BE KOBE

03 2023年度主要事業 ～市バス事業～

BE KOBE





● 市バス事故再発防止に向けた研修・取り組み

- 2019年4月21日にJR三ノ宮駅前の横断歩道で発生した市バス重大事故を、過去のものとして風化させないため、当時の事故の状況をパネルや新聞記事等で展示した研修施設「**安全の礎**」を整備。
- 採用時や研修の機会等に積極的に活用することで、「二度と事故を起こさない」という意識を全ての職員に徹底。
- 全車両への**バックカメラ設置**を進めるとともに、**ドライブレコーダーの更新**に合わせた運転評価機能（デジタルタコグラフ）を使用した安全運行に対する評価の実施など、ソフトとハードの両面から安全運行を徹底していく。



安全の礎（御崎Uビル内）

● 市バス営業所における組織風土改革

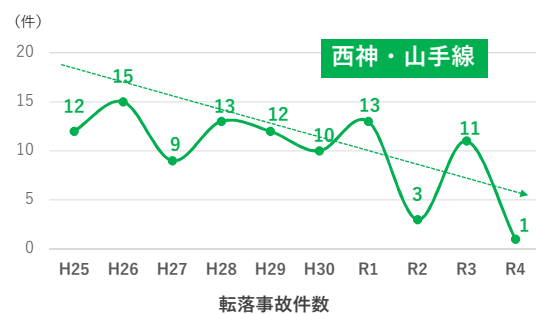
- 市バス営業所において発生した**ハラスメント事例**を受け、第三者の弁護士による調査や、より独立性の高い第三者調査委員会による調査に基づいて、**職場環境に悪影響をもたらす不適切な行為の実態把握**を行うとともに、営業所管理体制の強化や風通しのよい職場づくり等の取り組みを進めている。
- 2023年度は、第三者調査委員会の調査結果報告書や職場改善にむけた提言を踏まえ、さらなる組織風土改革に取り組むことにより、**日本一の市バス営業所の実現**を目指し、引き続き風通しの良い職場づくりを進めていく。

2022年度 実施	・本庁自動車部に直営3営業所を統括する部門を設置
	・長期在籍者を中心に計画的な人事異動の実施
	・交通局全職員に対するハラスメント研修の実施
2023年度 実施	・バス事業現場経験のある職員の営業所長への登用
	・本庁営業所統括部門の中央営業所への移転
	・現場職員のキャリアプランの策定・実施
	・営業所における職場環境の改善、時間外勤務の削減
	・女性運転士の採用活動の強化

組織風土改革に向けた取り組み

● ホームドア設置

- 西神・山手線、北神線全駅において、2023年度中に全駅設置予定
- 西神・山手線では、ホームからの転落事故が**年間10件程度**発生していたが、**ホームドアの運用を開始した駅では、事故件数が0件**



● 地下鉄駅施設のユニバーサル対応

- ホームドア設置に伴うスロープ・櫛ゴム設置により、**ホームと車両の段差及び隙間が縮小**されることにより、車いす利用者の乗降時の利便性向上につながる
- 湊川公園駅西口にエレベーターを新設するほか、妙法寺駅や上沢駅のエレベーターをバリアフリー基準に適合したエレベーターに更新する



スロープ・櫛ゴム設置による段差及び隙間縮小

03 快適で質の高いサービスの提供 ～市バス・地下鉄～

● 定期券WEB予約サービスの導入

- パソコンやスマートフォンから新規定期券購入の予約を行い、自動定期券発売機で決済・発券できるサービスを導入（2023年3月8日より導入）
- 定期券発売所の混雑緩和にも役立ち、特に**新入生**の通学定期券購入時の負荷軽減につながる。
- 「定期券WEB予約サービス」をより多くの方にご利用いただくために、**自動定期券発売機を設置拡充（地下鉄全駅設置済）**



17

03 快適で質の高いサービスの提供 ～地下鉄事業～

● インバウンドを見据えた乗客増対策

- **大阪・関西万博の開催**や**神戸空港の国際化**などによるインバウンド増加も見据え、地下鉄改札機での**クレジットカード**や**QRコード決済**導入に向けたシステム開発を行う
- 取り組みにあたっては、外国人観光客が神戸の街を快適に周遊いただくために、2022年11月に設置された「**関西MaaS協議会※**」とも連携

2024年（R6） 世界パラ陸上競技選手権大会
 2025年（R7） 大阪・関西万博
 2030年（R12） 神戸空港国際便定期就航

※ 関西MaaS協議会：関西鉄道7社（大阪メトロ、近鉄、京阪、南海、JR西日本、阪急、阪神）が関西地域におけるMaaSサービスを共同で構築・運営するために設立



18

03 快適で質の高いサービスの提供 ～市バス事業～



● 市バスポイントサービスの運用

- 2021年4月から乗車ポイントサービスを開始しており、ご利用額に応じたポイントを乗車時にご利用いただける制度として引き続き運用するとともに、さらなる周知に努めています。

【制度概要】

- 対象ICカード：ICOCA等
- 対象バス路線：市バス（普通区・近郊区・共用区）
山陽バス（高速バス除く）
神姫バス（山手線のみ）
- ポイント付与：普通ポイント：5%～10%
昼間ポイント：15%～30%



市バスポイントサービスポスター

19

03 快適で質の高いサービスの提供 ～地下鉄事業～



● 地下鉄ポイントサービスの導入

- より便利なサービスとして、また、IC化率の向上を目的に、2024年度中にICカードを活用した地下鉄ポイントサービスを導入することを目指して、システム開発を行う。
- 導入にあたっては、地下鉄の乗車券や割引サービスの在り方を総合的に見直し、分かりやすく使いやすいサービスへと再編を図るとともに、他の民間交通事業者とのシームレスな連携を行っていく。

(検討の方向性)

- ・回数券、New Uラインカード⇒地下鉄ポイントサービスへの移行
- ・地下鉄磁気定期券⇒IC定期券への移行
- ・共通ポイントの導入



回数券

New Uラインカード

磁気定期券

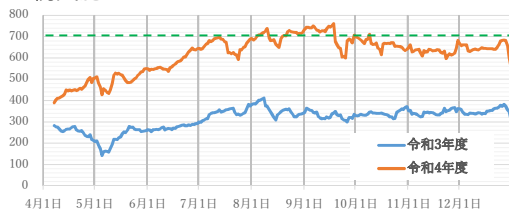


ICOCA等のICカード

20

● 実証実験 三宮・エリア110

- 市全体で進めている三宮再整備、都心の回遊性向上とも歩調をあわせ、より多くのお客様に市バスに乗っていただくために、**三宮都心部（駅ターミナルから概ね1km 圏内）**において、エリア内の市バス停留所間をICカード使用でご乗車いただいたお客様誰もが、**110円の均一料金**でご乗車いただけるようにする実証実験「**三宮・エリア110**」を令和5年度も継続実施



三宮・エリア110利用者推移(2022年4月～12月)



対象エリア

● 2タッチデータの活用

- 市バスICカード2タッチ化によって得られた乗降データを活用して、令和3年度に策定した「**データに基づく持続可能な路線バス網の構築に関する基本的な考え方**」に基づき、移動需要に応じたバス路線の検討を進める。
- 2タッチデータをもとに、ご利用状況が少ない市バス路線について、より効率的・効果的なバス路線やダイヤとなるよう**路線再編**の検討を進める。
- 中央区役所・中央文化センター**へのアクセス向上に関する地域からの要望を受けて、「国香通5丁目」を通るルートでの**試験運行を実施**する。試験運行後、乗降データでのご利用状況を踏まえて以降の運行について検討を行う。
- ICカード2タッチ化による乗降データを活用して、運行実態に応じた適切な時刻のダイヤとなるように一部**ダイヤ調整**を行う。

● 市内公共交通サービスのシームレス化推進

- 市バス普通区IC定期券**について、普通区内の神姫バスおよびPortLoopとの共通利用を引き続き実施するとともに、市バスで実施している**乗継割引制度**の神姫バスへの導入に向けた協議・検討を進めるなど、市内公共交通サービスのシームレス化を推進することで、市民サービスの向上を図る。

● 海岸線中学生以下無料化の本格実施

- 海岸線沿線地域への若年世代・子育て世帯の交流・流入・定住促進による乗客増を目的として、2017年7月より実施している地下鉄海岸線中学生以下無料化社会実験について、**2023年度から本格実施に移行**。
- また、**マイナンバーカード**を活用し、自宅でも申込できる仕組みを構築し、さらなる利便性を向上する（**2023年9月頃**）。



● 誰もが利用しやすいバス停の整備

- 高齢者や障がい者をはじめ、誰もが安心して移動や気軽に腰を下せる環境を作るため、**まちづくりの視点**から、バス停施設（上屋・ベンチ）を利用できるようにしていく。
- 上屋・ベンチの整備にあたっては、一般会計からの支援を受け、**街路景観にも配慮**しながら整備していく。

【整備予定】

ベンチ：150ヶ所／年程度《2023年度～2025年度》
 上屋：5ヶ所／年程度《2023年度～2025年度》
 ※ 特に良好な街路景観を求められるシンボルロードを中心に約15ヶ所を整備予定）



ベンチイメージ



上屋整備イメージ

● 駅の特別清掃・トイレのイメージアップ改修

- 地下鉄駅のすべての**トイレを洋式化、温水洗浄便座**を導入、乗降客数の多い駅のトイレの**イメージアップ改修**の実施（2025年度まで）
- まちの玄関口である駅的美装化による地下鉄沿線の価値向上を目的に開業以来対応できていない駅の汚れについて一般会計からの支援を受けて**特別清掃**を全駅で実施する



イメージアップ改修（新神戸駅）



特別清掃の試行（大倉山駅）

● 名谷駅のリノベーション

- 「**リノベーション・神戸**」の一環として、**駅利用者の利便性向上**や**地域住民の憩いの場**となることを目指す。また、北ゾーンの新設によりテナントの拡大・再編を行う。



名谷駅（北ゾーン：2023年6月30日オープン、南ゾーン：2024年度完成予定）

● 新長田駅のリノベーション

- 西神・山手線のテーマカラーである「緑」を要所に配置したデザインで、従来の暗い駅空間のイメージを一新し、**未来的で明るい駅空間**に変えていく。



新長田駅（～2024年3月）

● 三宮駅東口のリノベーション

- 山並みと海、風や波をイメージさせる「うねり」が**都市と自然が調和する神戸らしさ**を表し、都会的で洗練された駅空間にしていく。



三宮駅東口（～2024年度）

03 神戸のまちづくりへの貢献 ～地下鉄事業～



● 板宿駅のリノベーション

- 須磨区役所にも近く、山陽電鉄との乗り換え駅である板宿駅の大規模リニューアルに向け、デザイン案について**市民投票**（～2023年4月16日）を実施。



市民投票A案



市民投票B案



市民投票C案



板宿駅（～2025年度末）

03 神戸のまちづくりへの貢献 ～地下鉄事業～



● 西神中央駅のリノベーション

- 西区の中心かつ玄関としての顔をもつ**西神中央駅**は、成熟した街、落ち着いた雰囲気醸成（高級感・誇り）を図るため、コンコース、ドーム部等の内装、外壁をリニューアル。



コンコース階
(改修前)



ドーム部
(改修前)



西神中央駅（～2024年度末）

03 神戸のまちづくりへの貢献 ～市バス事業～



● 水素バス（燃料電池バス）の運行

- 「水素スマートシティ神戸構想」を掲げているなか、水素社会の推進に貢献するため、CO2 や環境負荷物質を排出しないクリーンな水素バス（燃料電池バス）を導入。
- 2023年4月より7系統（神戸駅前～市民福祉交流センター前）等での運行を開始。
- 併せて、イベントの実施や車内での動画放映、グッズ販売等により、市民への周知を図る。



水素バス（燃料電池バス）



© TOMY 「トミカ」は株式会社タカラトミーの登録商標です。

オリジナルトミカ発売

03 安定的な経営基盤の確立 ～市バス・地下鉄事業～



● 経営情報の発信

- 新型コロナウイルス感染症拡大によってご利用人数が大幅に減少しているなか、より市バス・地下鉄を利用いただくため、情報発信の充実に向けて検討を行い、2022年度より交通局の経営状況や取り組みをわかりやすく伝える「交通局レポート」の発行を始めている。

- 第1号 市バスのことお伝えします！
- 第2号 16年ぶり 地下鉄ダイヤ改正を実施！！
- 第3号 まちリノベーション 駅リニューアル実施！
- 第4号 全国初！神戸市バスのご利用状況が見える！

- また、広報こうべにおいて、マンガで交通局の経営情報を発信する取り組みを実施（2023年1月号）



交通局レポート



広報こうべ（2023年1月号）

03 安定的な経営基盤の確立 ～市バス事業～

● ご利用状況の見える化

- 2タッチデータをもとに、市バス1便ごとの各停留所間における乗車状況（平均車内人数）や停留所別の乗降客数を神戸市バスご利用状況データサイト「mieruka（ミエルカ）」にて公開（この規模のデータ公開は全国でも初めて）
- 新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが2類相当から5類に引き下げられ、行動制限もなくなる中において、より快適に市バスをご利用いただくツールとしてご利用いただくほか、バス停ごとの乗降人数を市場調査や街の活性化に役立てていただくことが可能



● 時間帯別
○ 使用
2022年4月～6月 | 1. 平日 | 2. 平日 | 3. 平日 | 4. 平日 | 5. 平日 | 6. 平日 | 7. 平日 | 8. 平日 | 9. 平日 | 10. 平日 | 11. 平日 | 12. 平日 | 13. 平日

系統 舞子駅前～本多第5～舞子高校前～字が丘～学園都市駅前 ※このデータは停留所間の車内人数を出しております。 ※前日のご乗車できるお客様は最大27名（次乗車の場合）

時間帯	始発時分	始発停留所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
706	学園都市駅前	学園都市駅前	15	15	14	14	16	14	4	7	11	18	23	24	26
715	舞子高校前	舞子高校前							7	9	11	19	23	24	24
721	舞子高校前	舞子高校前							7	9	11	19	23	24	24
730	学園都市駅前	学園都市駅前	11	10	10	11	17	18	20	20	25	30	34	35	37
736	学園都市駅前	学園都市駅前	17	16	14	15	18	12	16	15	20	23	28	28	28
745	舞子高校前	舞子高校前							3	8	12	19	22	24	26
746	学園都市駅前	学園都市駅前	17	16	16	16	17	10	11	11	12	13	16	17	18
750	学園都市駅前	学園都市駅前	23	22	22	23	24	13	13	12	13	16	18	19	20
754	学園都市駅前	学園都市駅前	24	24	24	25	26	11	12	13	15	17	20	21	21
757	舞子高校前	舞子高校前							4	6	9	13	17	19	20

1 便ごとの平均車内人数



バス停ごとの時間帯別乗降人数

03 安定的な経営基盤の確立 ～地下鉄事業～

● 沿線地域の活性化に寄与する保有資産の利活用

- 西神車庫用地の一部や伊川谷駅南側の所管用地の活用方法を見直すことで、沿線エリアの活性化を図り、定住人口や交流人口の増加につなげる。



● 海岸線の集客増対策や地域活性化への貢献

- 沿線に人が集まり、地域が元気になるよう、**地域の活性化**や応援を図る取り組みを他部局や地域のキーパーソンと連携して実施し、乗客増につなげる。
- また、兵庫津ミュージアムのグランドオープンやこども家庭センター・こべっこランドの移転、外来生物展示センターのオープンによる新たな人の動きに呼応して、**駅内装飾**や**案内掲示**などまちの特色を活かした駅づくりを進めていくとともに、**企画乗車券の発売**や**イベント**など連携事業を実施し、海岸線の魅力向上とPRを図る。



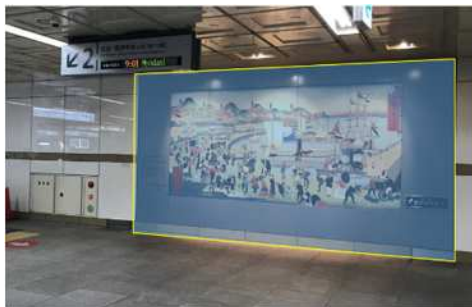
こべっこランド構内装飾（和田岬駅）



外来生物展示センター構内装飾（苅藻駅）

● デジタルサイネージ設置拡充

- **三宮駅**のリニューアルにあわせて**大型サイネージ**の整備や**柱サイネージ**を増設し、デジタル広告媒体の拡充を図る。
- **内照式広告のLED化**による駅構内の照度アップを図り、空き広告枠には市政広告を掲載。
- 沿線価値向上の取り組みに合わせ、広告の魅力を高めることで**単価アップ**や**駅の魅力向上**につなげていく。



三宮駅大型サイネージ設置予定箇所



三宮駅ホーム（柱サイネージ）

03 安定的な経営基盤の確立 ～市バス事業～



● 女性運転士の採用

- **女性限定の募集**を行うなど、女性運転士の採用活動を強化する。
- また、より多くの女性にご応募いただくために市バス営業所内に**女性専用の休憩室スペース**を設置したほか、短時間勤務制度や出産・育児の両立を応援する各種制度があることなどを採用ホームページや職場見学会、就職説明会等の場で積極的に広報していく。



女性専用休憩スペース

37

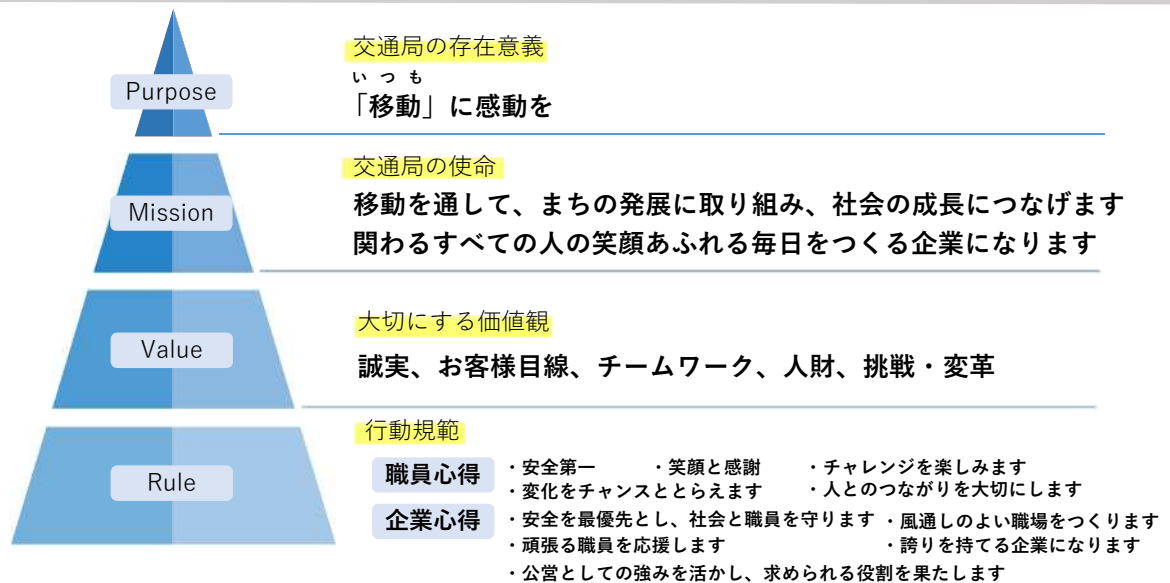
04 新生交通局の発足

BE KOBE

38

● 交通局企業理念の策定

- これからも市民・お客様から必要とされる交通局であり続けるためにも、交通局の全ての職員が共有の理念（存在意義・使命・価値観）を抱き、同じ方向を向いて進んでいくための道しるべとして、「**交通局企業理念**」を策定
- すべての職員への周知を行い、理念の理解と浸透を進めていく



2023年度 神戸市交通局予算の概要

【自動車事業】

(単位:百万円、税込)

区分		2022年度予算	2023年度予算	予算比較	伸び率(%)
収 益 的 収 支	営 業 収 益	9,871	9,379	△ 492	△ 5.0
	運 輸 収 入	7,657	7,314	△ 343	△ 4.5
	定期・定期外	6,638	6,327	△ 311	△ 4.7
	敬老利用者負担	1,019	987	△ 32	△ 3.1
	他 会 計 負 担 金	1,917	1,772	△ 145	△ 7.6
	そ の 他	297	293	△ 4	△ 1.3
	営 業 外 収 益	1,392	1,357	△ 35	△ 2.5
	一 般 会 計 補 助 金	1,311	1,273	△ 38	△ 2.9
	そ の 他	81	84	3	3.7
	計	11,263	10,736	△ 527	△ 4.7
	営 業 費 用	11,764	11,388	△ 376	△ 3.2
	人 件 費	3,739	3,113	△ 626	△ 16.7
	経 費	7,592	7,751	159	2.1
	減 価 償 却 費	433	524	91	21.0
	営 業 外 費 用	245	190	△ 55	△ 22.4
支 払 利 息 及 び 諸 費	66	85	19	28.8	
消 費 税 等	179	105	△ 74	△ 41.3	
予 備 費	100	100	-	0.0	
計	12,109	11,678	△ 431	△ 3.6	
営 業 損 益 (税 抜)		△ 1,964	△ 2,025	△ 61	
経 常 損 益 (税 抜)		△ 812	△ 945	△ 133	
純 損 益 (税 抜)		△ 902	△ 1,035	△ 133	
累 積 損 益		△ 4,102	△ 5,137	△ 1,035	
累 積 資 金 不 足 額		1,717	1,718	1	

2023年度神戸市自動車事業会計予定貸借対照表

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	18,161,167	固 定 負 債	12,772,583
運送施設有形固定資産	35,207,684	企 業 債	10,432,384
減価償却累計額	△ 17,184,958	引当金(退職給付引当金)	2,267,768
計	18,022,726	そ の 他 固 定 負 債	72,431
関連施設有形固定資産	211,209	流 動 負 債	7,935,854
減価償却累計額	△ 111,517	一 時 借 入 金	4,500,000
計	99,692	企 業 債	622,060
運送施設無形固定資産	10,669	未 払 金	1,811,233
関連施設無形固定資産	3,025	前 受 金	733,681
投 資	25,055	預 り 金	17,289
流 動 資 産	5,595,378	引当金(賞与等引当金)	226,040
現 金 預 金	3,368,084	そ の 他 流 動 負 債	25,551
未 収 金	2,205,938	繰 延 収 益	438,985
貯 蔵 品	21,356	長 期 前 受 金	2,612,895
		収 益 化 累 計 額	△ 2,173,910
		資 本 金	4,895,029
		剰 余 金	△ 2,285,906
		資 本 剰 余 金	2,851,514
		利 益 剰 余 金	△ 5,137,420
		未処分利益剰余金	△ 5,137,420
合 計	23,756,545	合 計	23,756,545

【高速鉄道事業】

<全線>

(単位:百万円、税込)

区 分		2022年度予算	2023年度予算	予算比較	伸び率(%)		
収益的収支	収	営業収益	20,776	21,466	690	3.3	
		運輸収入	定期・定期外	17,130	17,406	276	1.6
			敬老利用者負担	16,369	16,599	230	1.4
			その他	761	807	46	6.0
		他会計負担金	1,565	2,101	536	34.2	
		その他	2,081	1,959	△ 122	△ 5.9	
	入	営業外収益	3,418	4,405	987	28.9	
		一般会計補助金	1,471	2,330	859	58.4	
		その他	1,947	2,075	128	6.6	
		計	24,194	25,871	1,677	6.9	
	支	営業費用	人件費	25,098	28,025	2,927	11.7
			経費	6,171	6,000	△ 171	△ 2.8
			減価償却費	7,637	9,730	2,093	27.4
			その他	11,290	12,295	1,005	8.9
		営業外費用	支払利息及び諸費	2,033	2,058	25	1.2
			消費税等	2,031	2,054	23	1.1
予備費			2	4	2	100.0	
計		100	100	-	-		
計		27,231	30,183	2,952	10.8		
営業損益(税抜)		△5,457	△7,579	△ 2,122			
経常損益(税抜)		△4,107	△5,301	△ 1,194			
純損益(税抜)		△4,197	△5,392	△ 1,195			
利益剰余金振替額		-	-	-			
累積損益(税抜)		△85,965	△91,357	△ 5,392			
累積資金余剰		2,270	△1,038	△ 3,308			

<線別>

(単位:百万円、税込)

区 分		西 神 ・ 山 手 線 、 北 神 線			海 岸 線			
		2022年度予算	2023年度予算	比 較	2022年度予算	2023年度予算	比 較	
收 益 的 收 支	收 入	営 業 収 益	18,205	18,755	550	2,571	2,712	141
		うち乗車料収入	16,343	16,676	333	2,352	2,332	△ 20
		定期・定期外	14,329	14,536	207	2,040	2,064	24
		敬老バス利用者負担	685	723	38	76	84	8
		他会計負担金	1,329	1,417	88	236	184	△ 52
	営 業 外 収 益	1,192	1,718	526	2,226	2,687	461	
	うち一般会計補助金	718	1,098	380	753	1,232	479	
	うち長期前受金戻入	465	592	127	1,471	1,449	△ 22	
	計	19,397	20,473	1,076	4,797	5,399	602	
	支 出	営 業 費 用	18,673	20,555	1,882	6,425	7,470	1,045
		人 件 費	4,922	4,759	△ 163	1,249	1,241	△ 8
		経 費	5,897	7,092	1,195	1,740	2,638	898
		減 価 償 却 費	7,854	8,704	850	3,436	3,591	155
		営 業 外 費 用	766	918	152	1,267	1,140	△ 127
		うち支払利息及び諸費	764	914	150	1,267	1,140	△ 127
		予 備 費	75	75	-	25	25	-
計	19,514	21,548	2,034	7,717	8,635	918		
営 業 損 益 (税 抜)		△ 1,536	△ 2,785	△ 1,249	△ 3,921	△ 4,794	△ 873	
経 常 損 益 (税 抜)		△ 1,140	△ 2,049	△ 909	△ 2,967	△ 3,252	△ 285	
純 損 益 (税 抜)		△ 1,209	△ 2,117	△ 908	△ 2,989	△ 3,275	△ 286	
累 積 損 益 (税 抜)		27,152	25,035	△ 2,117	△ 113,117	△ 116,392	△ 3,275	
資 本 的 收 支	收 入	19,456	17,773	△ 1,683	6,086	5,525	△ 561	
	うち企業債	14,508	12,784	△ 1,724	2,739	2,234	△ 505	
	うち出資金	3,725	3,215	△ 510	625	498	△ 127	
	うち補助金	869	1,256	387	2,722	2,793	71	
	支 出	22,720	21,439	△ 1,281	12,080	12,251	171	
	うち建設改良費	19,001	17,044	△ 1,957	3,128	2,502	△ 626	
	うち企業債償還金	3,027	3,223	196	8,923	9,749	826	
収 支 差 引	△ 3,264	△ 3,666	△ 402	△ 5,994	△ 6,726	△ 732		
累 積 資 金 過 不 足 額		66,704	69,903	3,199	△ 64,435	△ 70,941	△ 6,506	

2023年度神戸市高速鉄道事業会計予定貸借対照表

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	274,682,995	固 定 負 債	174,570,035
運送施設有形固定資産	563,460,786	企 業 債	166,243,653
減 価 償 却 累 計 額	△ 299,005,016	引当金(退職給付引当金)	5,695,424
計	264,455,770	そ の 他 固 定 負 債	2,630,958
付帯事業有形固定資産	16,503,990	流 動 負 債	24,140,643
減 価 償 却 累 計 額	△ 11,593,281	一 時 借 入 金	—
計	4,910,709	企 業 債	11,715,348
運送施設無形固定資産	685,302	未 払 金	8,855,488
投 資	4,631,214	前 受 金	1,588,849
流 動 資 産	11,387,615	預 り 金	1,440,469
現 金 預 金	389,909	引当金(賞与等引当金)	431,187
未 収 金	7,792,507	そ の 他 流 動 負 債	109,302
貯 蔵 品	204,824	繰 延 収 益	55,788,820
前 払 費 用	169	長 期 前 受 金	136,372,360
そ の 他 流 動 資 産	3,000,206	収 益 化 累 計 額	△ 80,583,540
		資 本 金	107,856,900
		剰 余 金	△ 76,285,788
		資 本 剰 余 金	14,964,685
		利 益 剰 余 金	△ 91,250,473
		未 処 分 利 益 剰 余 金	△ 91,250,473
合 計	286,070,610	合 計	286,070,610